TOPIX等の見直しの概要

株式会社ＪＰＸ総研

2026年5月

© 2026 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

概要

- TOPIX（1969年算出開始）は日本株の市場平均を示すベンチマークとして国内外で定着しています。
- 2022年4月の東証の市場区分再編を契機に取り組んでいる、TOPIXの投資対象としての機能性を高める見直し（第一段階の見直し）が2025年1月末に完了します。
- これに続く第二段階の見直しとして、TOPIXの巨額の連動資産（約110兆円（2024年3月））や幅広い利用を踏まえて指数の**連続性を確保**しつつ、**全市場区分（プライム市場・スタンダード市場・グロース市場）を対象**として**流動性をより重視して銘柄の定期入替**を実施するなど、**広範網羅性や投資対象としての機能性を更に高める**見直しに着手します。
- 第一段階の見直しと同様、次期TOPIXへの円滑な移行や市場影響の緩和の観点から、**周知や移行の期間を十分確保し、移行は段階的に実施**します。

(TOPIXの見直しの全体的な流れ)

第一段階

2021.4		22.4	22.4～6	22.10～25.1
ルールの公表	周知期間	市場区分との紐づけ廃止	流動性に着目した見直し 政策保有株を浮動株から除外	段階的ウエイト低減の実施*

完了

*流通株式時価総額100億円未満の銘柄が対象

第二段階

2024.6	24.9末		26.10	26.10～28.7	28.10
指数コンサルテーション	ルールの公表	周知期間	初回定期入替	次期TOPIXへの段階的移行	第2回定期入替*

移行措置銘柄に対し27年10月再評価を実施

*以後、毎年実施

【参考】上場制度の対応

▲市場区分の再編（2022.4）

▲資本コスト等を意識した経営のお願い（2023.3）

▲市場区分の再編に係る経過措置銘柄の改善期間終了（3月期銘柄）（2026.3）

© 2026 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

次期TOPIXルール（主な変更内容）

	現行TOPIX	次期TOPIX
対象市場	プライム市場 *新市場区分再編時の構成銘柄で、スタンダード市場やグロース市場を選択した銘柄は現行TOPIXに含まれる。	プライム市場・スタンダード市場・グロース市場
定期入替	なし	年1回、10月最終営業日（基準日：8月最終営業日）
選定基準	なし *市場区分再編時などにおいて流通株式時価総額が100億円未満の銘柄の段階的ウエイト低減を実施中	• 下記の流動性基準により銘柄を定期入替 指標 / 追加基準 / 継続基準* 年間売買代金回転率 / 0.2以上 / 0.14以上 浮動株時価総額の累積比率 / 上位96%以内 / 上位97%以内 • 追加基準はTOPIXの構成銘柄でない銘柄に適用し、継続基準は既にTOPIXの構成銘柄である銘柄に適用 ＊ 指数の安定性や投資効率の観点から継続基準(バッファ・ルール)を導入
非定期の追加	プライム市場への新規上場・市場区分の変更*銘柄 *2026年10月まで	プライム市場・スダンダード市場・グロース市場への新規上場*銘柄で、浮動株時価総額が、同累積比率上位95%に含まれる銘柄の最低浮動株時価総額を上回る銘柄 *2026年11月以降

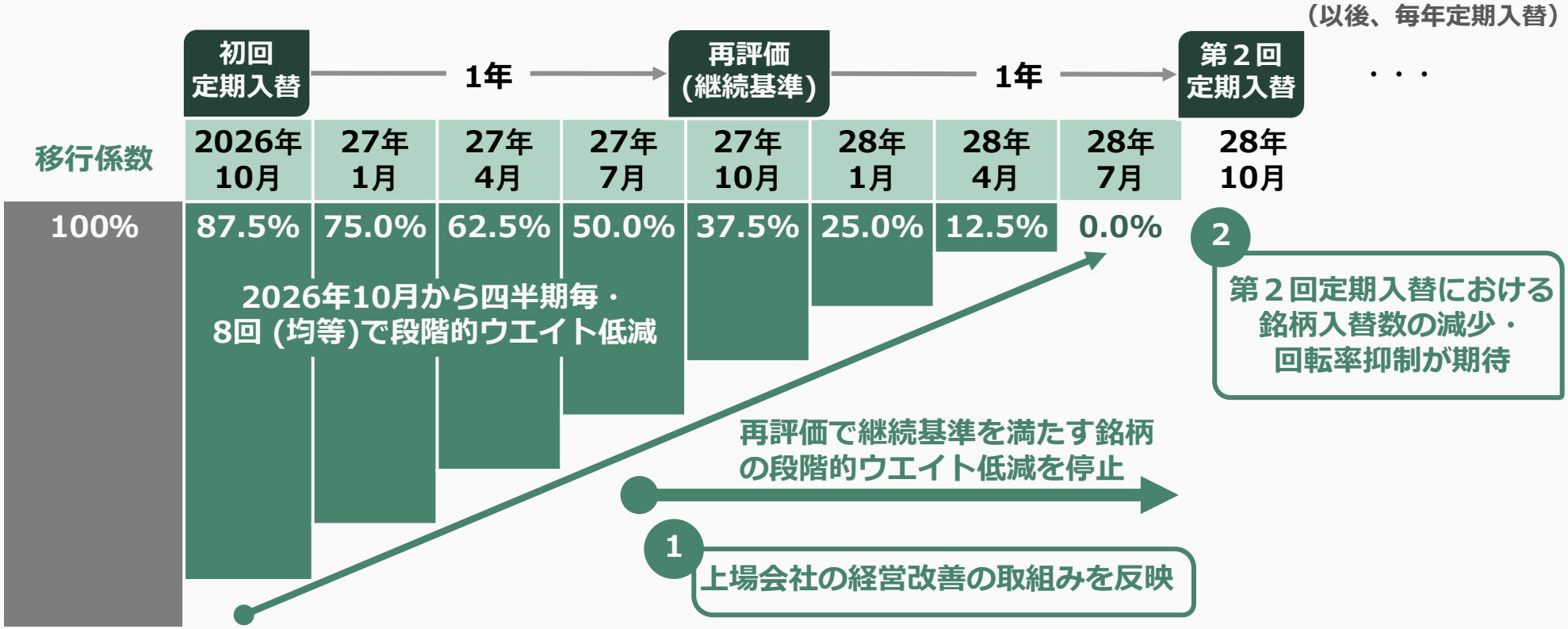
※非定期の除外（上場廃止、整理銘柄、特別注意銘柄）、ウエイトキャップ（10%）に変更はありません。
※年間売買代金回転率は、定期入替基準日が属する月以前直近12か月間の月次の売買代金回転率の合計を用います。月次の売買代金回転率は、「（日次の東証の売買立会での売買代金の中央値×営業日数）÷ 月末最終営業日の浮動株時価総額」とします。
※浮動株時価総額の累積比率は、「整理銘柄又は特別注意銘柄でなく、年間売買代金回転率の条件を満たす銘柄群において浮動株時価総額が大きい銘柄から累積した浮動株時価総額÷当該銘柄群の浮動株時価総額の合計」とします。

© 2026 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

次期TOPIXへの移行措置

- 次期TOPIXへの円滑な移行のため、市場影響を緩和する観点から、新ルールの周知や移行期間を十分に設けるとともに、**移行を段階的に進めるなどの移行措置**を講じます。
- 移行措置に関し、第一段階の見直しと同様に**移行措置銘柄に対する再評価を実施**します。
  - ✓ 初回の定期入替は2026年10月、2回目の定期入替は2028年10月に実施
  - ✓ 初回の定期入替において継続採用されない銘柄（移行措置銘柄）は、**四半期ごと8段階でウエイトを低減**
  - ✓ 2027年10月に再評価を行い、**継続基準*を満たす銘柄の段階的ウエイト低減を停止**

*年間売買代金回転率：0.14以上、浮動株時価総額の累積比率：上位97%以内

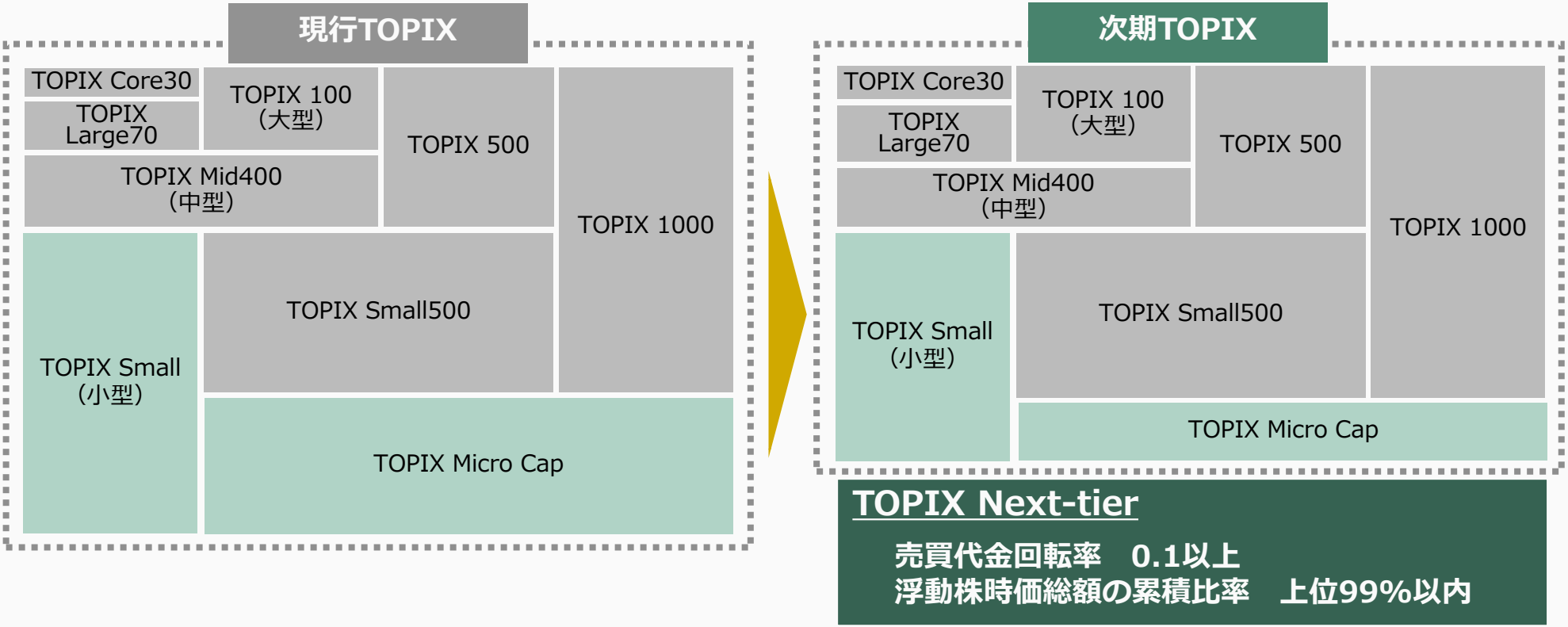


© 2026 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

その他の見直し

「TOPIX Next-tier」の算出開始

- TOPIXに選定されない銘柄（移行措置銘柄を含む）を対象に、一定の流動性が認められる銘柄からなる「**TOPIX Next-tier**」をTOPIXの初回定期入替（2026年10月）にあわせて新たに算出開始します



東証グロース市場250指数の見直し

	現行		見直し案
構成銘柄	グロース市場上場銘柄のうち、上場時価総額上位250銘柄		
TOPIX銘柄の扱い	構成銘柄から除外	▶	構成銘柄の対象（TOPIXとの重複が可能となる）

© 2026 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

試算結果（2026年3月最終営業日基準）

- 2026年3月最終営業日を基準日とした試算においても、**指数の連続性の確保しつつ、広範網羅性や投資対象としての機能性の向上を確認**
- 2024年8月最終営業日を基準日とした試算と比較し、相場上昇に伴い**浮動株時価総額の合計や流動性指標は上昇**。相場環境や上場銘柄数の減少などを要因として銘柄数は減少

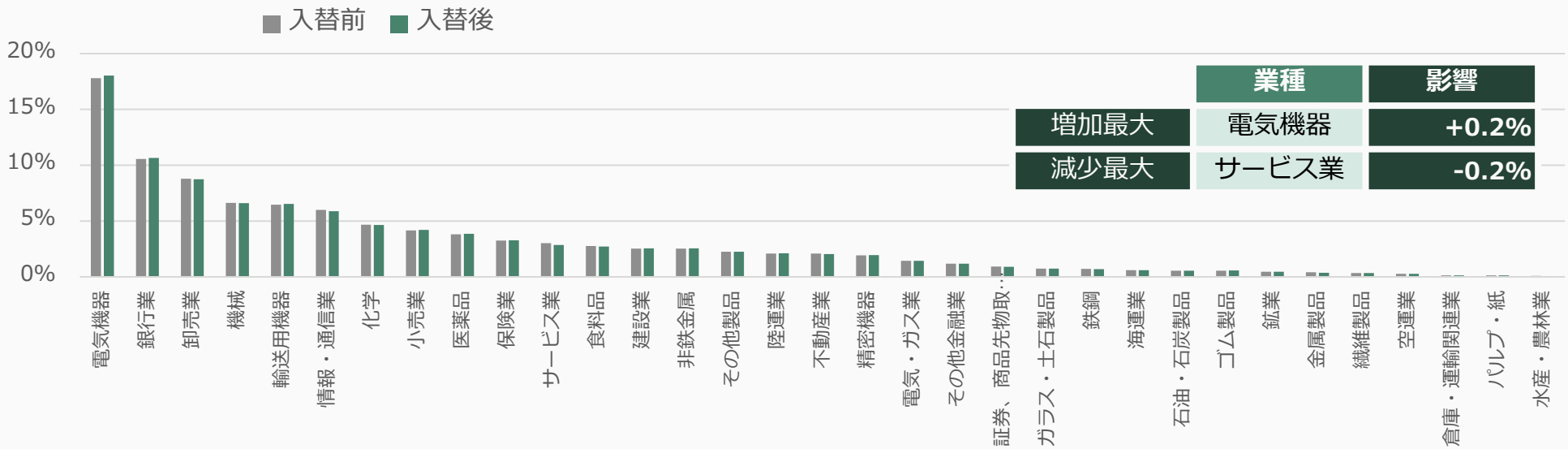
	現行TOPIX 26/3末時点	次期TOPIX		現行TOPIXとの比較
		24/8末試算	26/3末試算	
浮動株時価総額の合計	691兆円	485兆円	**684兆円**	➢ ほぼ維持
市場カバー率（※1）	約97.5%	約96.7%	**約96.6%**	➢ ほぼ維持
浮動株時価総額（中央値）（※2）	約526億円	約820億円	**約1,360億円**	➢ 2倍超の増加
1日あたり売買代金（中央値）（※3）	約4.2億円	約7.5億円	**約11.8億円**	➢ 2倍超の増加
銘柄数（※4）	1,654銘柄	約1,150銘柄（※5）	**約1,050銘柄**	➢ スタンダード、グロース市場から約50銘柄が採用
TOPIX（月間平均）	-	2,596.40pt	**3,644.58pt**	-
上場銘柄数（※6）	-	3,826銘柄	**3,738銘柄**	-

※1 市場カバー率とは、プライム、スタンダード、グロース市場の全銘柄の浮動株時価総額の合計に占めるTOPIX構成銘柄の同合計の割合
※2 浮動株時価総額の累積比率上位97%以内の最小値は24/8末は約230億円、26/3末は約360億円
※3 1日あたり売買代金は基準日以前6か月間の平均、次期における最小値は24/8末は約4,600万円、26/3末は約8,100万円
※4 試算基準日の1年前に初回定期入替を実施し、試算基準日における再評価で継続基準を満たした銘柄を含む
※5 前回資料までは100銘柄刻みの概算として約1,200銘柄と記載
※6 東証プライム市場指数、東証スタンダード市場指数及び東証グロース市場指数の構成銘柄の合計

© 2026 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

各特性の連続性（2026年3月最終営業日基準）

業種特性（※業種別のウエイト集計結果）



	業種	影響
増加最大	電気機器	+0.2%
減少最大	サービス業	-0.2%

規模特性（※規模別のウエイト集計結果）

	現行TOPIX	次期TOPIX	影響
TOPIX Core30(超大型)	41.6%	42.8%	+1.1%
TOPIX Large70（大型）	26.0%	26.8%	+0.8%
TOPIX Mid400（中型）	25.2%	24.7%	-0.4%
TOPIX Small（小型）	7.2%	5.7%	-1.5%

※　次期TOPIXについて、26年3月末の浮動株時価総額順に簡易的に判定

ファンダメンタルズ特性

	現行TOPIX	次期TOPIX	影響
PER（加重）	19.1	19.2	+0.1
PBR（加重）	1.73	1.75	+0.02
配当利回り（加重）	1.95%	1.93%	-0.02%

※　当期純利益及び純資産、配当金は26年1月期までの決算短信ベース、時価総額は26年3月最終営業日時点。
※　PER（加重）＝Σ（時価総額× FFW）÷ Σ（連結当期純利益× FFW）
※　PBR（加重）＝ Σ（時価総額× FFW）÷ Σ（連結純資産× FFW）
※　配当利回り（加重）＝Σ（配当金総額× FFW）÷Σ（時価総額× FFW）

© 2026 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

（参考）指数概要（TOPIX Next-tier）

項目	内容
算出方法	時価総額加重方式
算出開始日	2026年10月最終営業日
対象となる銘柄	プライム・スタンダード・グロース各市場の内国普通株式であって、TOPIXに選定されていない銘柄（移行措置銘柄を含む）
定期入替	年1回、毎年10月最終営業日（基準日は8月最終営業日） ※ 初回の定期入替は2026年10月最終営業日、2回目の定期入替は2028年10月最終営業日に実施
銘柄選定基準	１．売買代金回転率0.1以上の銘柄 ２．１.を満たす銘柄のうち、浮動株時価総額の累積比率が上位99%以内の銘柄
非定期の追加	なし
非定期の除外	整理銘柄指定・上場廃止・特別注意銘柄指定
銘柄数	約800銘柄*

*構成銘柄数は試算値であり、非定期の追加等や定期入替時の状況によって変動する。

© 2026 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

（参考）TOPIXの見直しの流れ

JPX

（市場区分の再編前）
2022年4月
構成銘柄数※ （約2,200銘柄）

（第一段階の見直し完了時）
2025年1月
（約1,700銘柄）

（第二段階の見直し完了時）
2028年7月
（約1,050銘柄）

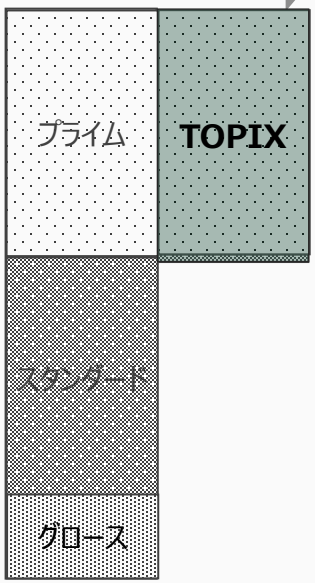
第一段階の見直し

連続性の確保

- 市場カバー率や指数特性の維持

機能性の向上

- 市場区分との切離し
- 浮動株比率算定方法の見直し（政策保有株の除外）
- 流通株式時価総額100億円未満の銘柄を段階的ウエイト低減



第二段階の見直し

連続性の確保

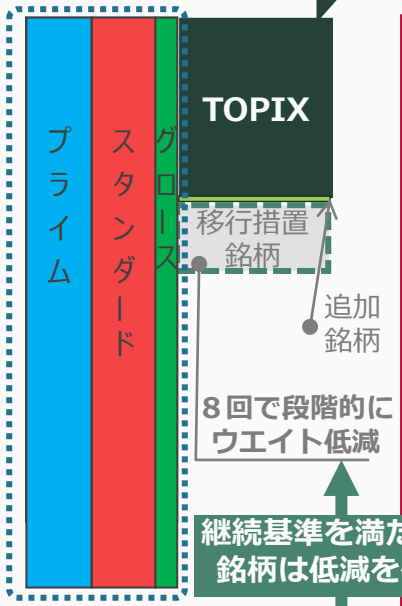
- **市場カバー率***や指数特性の維持

* 第一段階の見直し完了時と比べ**約99%維持**

機能性の更なる向上

定期入替において

- **全市場区分を対象**
- **流動性基準による選定**
  - ✓ 売買代金回転率
  - ✓ 浮動株時価総額累積比率



継続基準を満たした銘柄は低減を停止

初回入替(26年10月)は段階的に移行

移行措置銘柄に対し、27年10月再評価を実施

定期入替化

28年10月以降毎年

銘柄入替を実施

十分な周知・移行期間

十分な周知・移行期間

【参考】上場制度の対応

▲市場区分の再編（2022.4）

▲資本コスト等を意識した経営のお願い（2023.3）

▲市場区分の再編に係る経過措置銘柄の改善期間終了（3月期銘柄）（2026.3）

© 2026 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

※構成銘柄数は試算値であり、非定期の追加等や定期入替時の状況により変動する。50の単位で表示